

# SmartPSS Lite モニターソリューション

## ユーザーマニュアル








# はじめに

## 一般事項

本書は、SmartPSS Lite（以下、「本プラットフォーム」）のモニターソリューションの機能、操作方法について紹介するものです。プラットフォームをご使用になる前によくお読みになり、本マニュアルは大切に保管してください。

## 安全に関する注意事項

マニュアルには、以下の警告表示が出てくる場合があります。

警告表示	意味
 <b>DANGER</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>WARNING</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>CAUTION</b>	回避しなければ、物的損害、データの損失、性能の低下、または予測できない結果をもたらす可能性のある潜在的なリスクを示しています。
 <b>TIPS</b>	問題解決や時間短縮に役立つメソッドを提供します。
 <b>NOTE</b>	本文の補足として、追加情報を提供します。

## 改訂履歴

バージョン	改訂内容	リリース時期
V1.0.0	初公開	2022年4月

## 個人情報保護に関するお知らせ

デバイスのユーザーまたはデータ管理者として、顔、指紋、ナンバープレートなど他人の個人データを収集することがあります。お客様は、ご自身の国のプライバシー保護に関する法令を遵守し、以下を含むがこれに限定されない措置を実施することにより、他者の正当な権利と利益を保護する必要があります。監視区域の存在を知らせ、必要な連絡先情報を提供するために、明確で目に見えるIDを提供すること。

## マニュアルについて

- 本書は参考資料です。本書と製品に若干の違いがある場合があります。
- 取扱説明書に従わない方法で製品を操作したために発生した損失については、当社は責任を負いかねます。
- 本書は、関係各国の最新の法規制に基づき、更新される予定です。詳細な情報は、紙の取扱説明書、CD-ROM、QRコードの読み取り、または公式ウェブサイトをご覧ください。取扱説明書は参考用です。電子版と紙版では、若干の違いがある場合があります。
- すべてのデザインおよびソフトウェアは、事前の書面による通知なしに変更されることがあります。製品の更新に伴い、実際の製品と取扱説明書に差異が生じることがあります。最新のプログラムおよび補足文書については、カスタマーサービスにお問い合わせください。

- 印刷の誤りや、機能・操作・技術データの記述に誤りがある可能性があります。本書の内容については細心の注意を払っておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- マニュアル（PDF形式）が開けない場合は、リーダーソフトをアップグレードするか、他のリーダーソフトをお試しく下さい。
- 本書に記載されている商標、登録商標、および会社名は、各社の所有物です。
- ご使用中に不具合が生じた場合は、弊社ホームページ、仕入先、カスタマーサービスにお問い合わせください。
- 本書の内容については細心の注意を払っておりますが、万一ご不審な点や誤りなどございましたらご連絡ください。

# 目次

はじめに.....	1
1 概要.....	1
2 ライブビュー画面.....	2
2.1 準備.....	2
2.2 ライブビュー.....	3
2.2.1 ビデオチャンネルによるライブビューイング.....	4
2.2.1.1 基本的な操作方法.....	4
2.2.1.2 マルチスクリーントラック.....	7
2.2.2 ツアープランによるライブビューイング.....	9
2.2.3 ビューによるライブビューイング.....	11
2.3 PTZの設定.....	12
2.3.1 プリセットポイントの設定.....	13
2.3.2 ツアーの設定.....	15
2.3.3 パンの設定.....	17
2.3.4 スキャンの設定.....	18
2.3.5 パターンの設定.....	19
2.3.6 ワイパーの設定.....	21
3 再生ページ.....	23
3.1 基本的な操作方法.....	23
3.1.1 本機で動画を再生する場合.....	23
3.1.2 パソコンで動画を再生する場合.....	25
3.2 その他の操作.....	25
3.2.1 スナップショットの表示.....	25
3.2.1.1 デバイスでスナップショットを表示する.....	25
3.2.1.2 コンピュータ上でスナップショットを見る.....	25
3.2.2 動画のクリッピングとダウンロード.....	26
3.2.3 スマート検索.....	29
3.2.4 複数の動画を同期して再生する.....	29

# 1 概要

モニターソリューションは、カメラとプラットフォームを連携させます。プラットフォームを通じて、リアルタイムのモニタリング画面をライブビューすることができます。また、カメラのスナップショットやビデオの再生も可能です。

## 2 ライブビュー画面

### 2.1 準備

カメラがプラットフォームに追加されていることを確認します。

図 2-1 ライブビュー画面

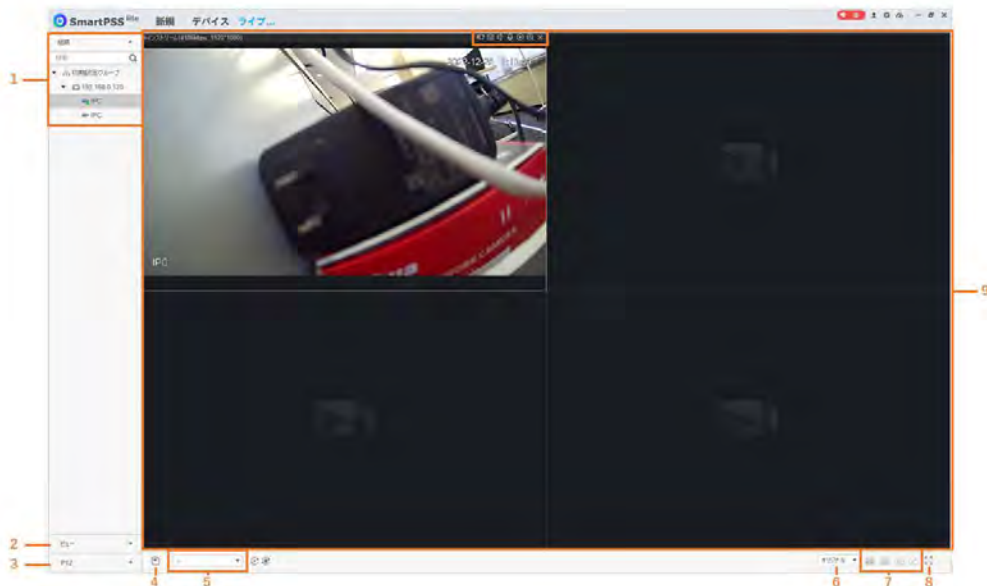


表 2-1 ライブビューパラメータの説明

No.	パラメータ	詳細
1	組織	<ul style="list-style-type: none"><li>⚙️ &gt; システム &gt; デバイスツリー(デバイスごと) を選択すると、デバイスは組織内のノードとして表示されます。</li><li>⚙️ &gt; システム &gt; 領域ツリー(チャンネルごと)を選択すると、チャンネルが組織内のノードとして表示されます。</li></ul>
2	ビュー	一覧表示します。2階層のディレクトリをサポートし、第1階層はグループ、第2階層は保存されたビューです。リアルタイムで映像のウィンドウ分割や再生を記録するビューです。これらのパラメータは、ライブビュープランとして保存することができます。後でそれらのパラメータが必要になった場合、すぐに適用することができます。
3	PTZ	PTZ 機能の詳細については、「2.3 PTZ の設定」を参照してください。
4	ビューを保存	アイコンをクリックすると、現在のビュープランが保存されます。
5	ツアーライブビュー	ツアープランを設定します。
6	映像比率	ビデオウィンドウのアスペクト比を設定します。
7	ウィンドウの分割モード	ビデオウィンドウの分割モードを設定します。

No.	パラメータ	詳細
8	フルスクリーン	ビデオウィンドウをフルスクリーンモードに切り替えます。フルスクリーンモードを終了したい場合は、 <b>Esc</b> キーを押すか、ビデオウィンドウを右クリックして、 <b>フルスクリーンを出る</b> を選択してください。
9	ビデオウィンドウ	ライブビュー画面を表示します。
10	ストリーム情報・ショートカットキー	エンコード形式、ストリーム情報、ショートカットキーが表示されます。

図2-2 デバイスの右クリックメニュー機能

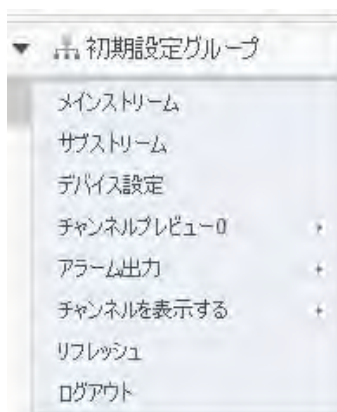


表2-2 デバイスの右クリックメニューの機能説明

パラメータ	詳細
<ul style="list-style-type: none"> <li>● メインストリーム</li> <li>● サブストリーム1</li> <li>● サブストリーム2</li> </ul>	ライブビューのストリームの種類を設定します。
デバイス設定	機器のウェブページにアクセスし、ウェブページ上で機器のパラメータを設定します。
アラーム出力	<p>接続されている外部警報機器（煙感知器など）の警報連動動作を開閉します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● : 外部アラーム機器のアラーム連動動作は無効となります。</li> <li>● : 外部アラーム機器のアラーム連動動作が有効になります。</li> </ul>
リフレッシュ	チャンネル情報を更新します。
ログアウト	端末をログアウトします。

## 2.2 ライブビュー

モニタリング画面は、3つの方法でライブビューすることができます。

- ビデオチャンネルによるライブビュー：ビデオチャンネルを対応するウィンドウにドラッグすると、モニタリング画面が表示されます。
- ツアープランを設定し、ツアープランをライブビューで確認することができます。
- 現在のライブビュー画面を閲覧履歴として保存し、閲覧履歴からライブビューを行うことができます。

## 2.2.1 ビデオチャンネルによるライブビューイング

### 2.2.1.1 基本的な操作方法

**手順 1** モニターソリューションページで**ライブビュー**を選択します。

**手順 2** リアルタイムモニタリング画面をライブ表示します。

モニタリング画面は、2つの方法でライブビューすることができます。

- 組織ツリーでチャンネルを選択し、チャンネルをダブルクリックするか、チャンネルを対応するウィンドウにドラッグします。
- 組織ツリーでデバイスをダブルクリックすると、デバイスのすべてのチャンネルが表示されます。







端末がツアー中の場合は、ライブビューイング前にツアーを終了してください。

**手順 3** ビデオウィンドウをクリックすると、ビデオウィンドウの右上にショートカットキーが表示されます。







図2-3 ウィンドウのショートカットキー



表2-3 ウィンドウのショートカットキーの説明

アイコン	パラメータ	詳細
	ローカルレコード	アイコンをクリックすると、プラットフォームが現在のビデオウィンドウにビデオを録画し始めます。アイコンをもう一度クリックすると、録画が停止し、ビデオがコンピュータに保存されます。デフォルトの保存パスは ".../Data/User/Record" です。保存先を変更する必要がある場合は、  > システム > ローカルパス > 録画パスを選択します。
	スナップショット	現在のビデオウィンドウの画像をコンピュータ上の画像として保存します（一度に1枚ずつ）。デフォルトの保存パスは ".../Data/User/Picture/Capture" です。保存先を変更する必要がある場合は、  > システム > ローカルパス > 画像パスを選択します。



アイコン	パラメータ	詳細
	音声	対応するカメラの音声を有効または無効にします。
	音声通話	対応するカメラのオーディオトーク機能の有効／無効を設定します。
	インスタントリプレイ	インスタントリプレイ機能の有効・無効を設定します。リプレイ時間の設定は  > システム > モニタリング設定 > インスタント再生時間から行います。インスタントリプレイ機能を有効にする前に、中央ビデオまたはデバイスのビデオを用意する必要があります。中央ビデオの優先順位はデバイスビデオより高くなります。
	ズーム	アイコンをクリックし、マウスホイールをスクロールして画像を拡大・縮小します。
	動画を閉じる	アイコンをクリックすると、動画が閉じます。

手順 4 ライブビューウィンドウを右クリックすると、右クリックメニューの機能が表示されます。



デバイスによって、サポートするビデオウィンドウの右クリックメニューの機能が異なります。

図 2-4 ビデオウィンドウの右クリックメニューの機能

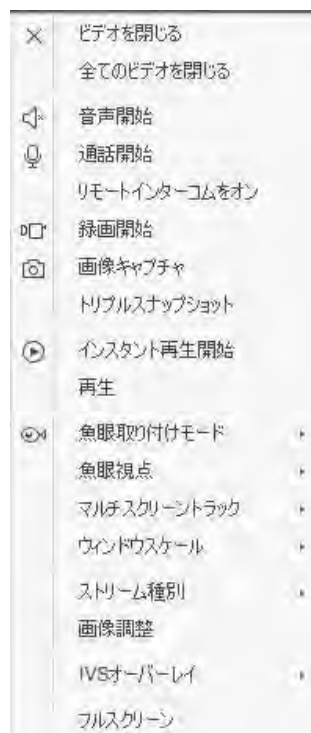







表 2-4 ビデオウィンドウの右クリックメニューの機能説明

パラメータ	詳細
ビデオを閉じる	現在のビデオウィンドウを閉じます。
すべてのビデオを閉じる	すべてのビデオウィンドウを閉じます。
音声開始	カメラの音声を有効または無効にします。
通話開始	カメラのトークの有効・無効を設定します。

パラメータ	詳細
リモートインターコムをオン	カメラのリモートインターカム機能のオン/オフを切り替えます。
録画開始	現在のビデオウィンドウでビデオを録画し、コンピュータに保存します。デフォルトの保存パスは、".../Data/User/Record"です。保存先を変更する必要がある場合は、  > システム > ローカルパス > 録画パスを選択します。
画像キャプチャ	現在のビデオウィンドウの画像をコンピューターに画像として保存します（1枚ずつ）。デフォルトの保存パスは、".../Data/User/Picture/Capture"です。保存先を変更する必要がある場合は、  > システム > ローカルパス > 画像パスを選択してください。
トリプルスナップショット	現在のビデオウィンドウの画像をコンピューターに画像として保存します。プラットフォームは、一度に3枚の画像をキャプチャします。
インスタント再生開始	インスタントリプレイ機能の有効・無効を設定します。リプレイ時間の設定は  > システム > モニタリング設定 > インスタント再生時間で行えます。インスタントリプレイ機能を有効にする前に、中央ビデオまたはデバイスビデオを用意する必要があります。中央ビデオの優先順位は、デバイスのビデオよりも高くなります。
再生	<b>再生</b> をクリックすると、再生ページが表示されます。詳しくは、「3 再生ページ」をご覧ください。
魚眼取り付けモード	実際のニーズに合わせて魚眼レンズの設置モードを設定します。
魚眼視点	現在の魚眼カメラモニター画面のビューモード（デフォルトではオリジナル画像モードがサポートされています）。魚眼カメラの設置モードが異なると、表示も異なります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>シーリングマウント: 1P + 1, 2P, 1P + 2, 1P + 3, 1P + 4, 1P + 6, 1P + 8</li> <li>ウォールマウント: 1P, 1P + 3, 1P + 4, 1P + 8.</li> <li>グラウンドマウント: 1P + 1, 2P, 1P + 3, 1P + 4, 1P + 6, 1P + 8.</li> </ul>  魚眼カメラのみこの機能をサポートしています。ストリームの種類を切り替えた後、魚眼表示では最後に設定した内容が維持されます。
マルチスクリーントラック	マルチスクリーントラックを有効にすると、ビデオウィンドウは4つ（1+3モード）または6つ（1+5モード）のブロックに分割されます。1つのブロックはライブビュー映像の再生に使用され、他のブロックは部分画面のズームインと再生に使用されます。詳しくは「2.2.1.2 マルチスクリーン・トラック」を参照してください。
ウィンドウスケール	ビデオウィンドウのアスペクト比を設定します。
ストリーム種別	3つのストリームタイプの帯域幅：メインストリーム > サブストリーム1 > サブストリーム2。ストリームが占有する帯域幅が小さいほど、映像の再生が滑らかになります。
画像調整	画像の明るさ、コントラスト、彩度、色相を調整し、最適な画像効果を得ることができます。

パラメータ	詳細
IVSオーバーレイ	<p>スマートモーション検出以外のAIルールやオブジェクトボックスを有効にします。デバイスがIVS検出を有効にしている場合、プラットフォームが<b>Smart Overlay</b>を有効にすると、ライブビュー中にオブジェクトボックスまたはAIルールが表示されます。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定されたチャンネルだけがこの機能を有効にできます。</li> <li>● AIルールとオブジェクトボックスはデフォルトで表示されません。</li> <li>● 設定した内容は、録画再生とライブビューで有効になります。</li> </ul>
フルスクリーン	<p>ビデオウィンドウをフルスクリーンモードに切り替えます。フルスクリーンモードを終了したい場合は、Escキーを押すか、ビデオウィンドウを右クリックして、<b>フルスクリーンを出る</b>を選択します。</p>

### 2.2.1.2 マルチスクリーントラック

マルチスクリーントラックを有効にすると、ビデオウィンドウは4つ（1+3モード）または6つ（1+5モード）のブロックに分割されます。1つのブロックはライブビュービデオの再生に使用され、他のブロックは部分画面のズームインと再生に使用されます。

**手順1** モニターソリューションのページで、**ライブビュー**を選択します。

**手順2** リアルタイムモニタリング画面をライブ表示します。

**手順3** ビデオウィンドウを右クリックし、**マルチスクリーントラック**を選択し、モードを選択します。ここでは、**1+3モード**を例にしています。1+3モードを選択すると、ビデオウィンドウ内に3つのブロックが表示され、ウィンドウ内の異なる部分の拡大・再生に使用されます。マウスホイールをスクロールすることで、映像を拡大・縮小することができます。ブロックをクリックしてドラッグすると、ブロックを別の場所に移動させることができます。

図 2-5 マルチスクリーントラック

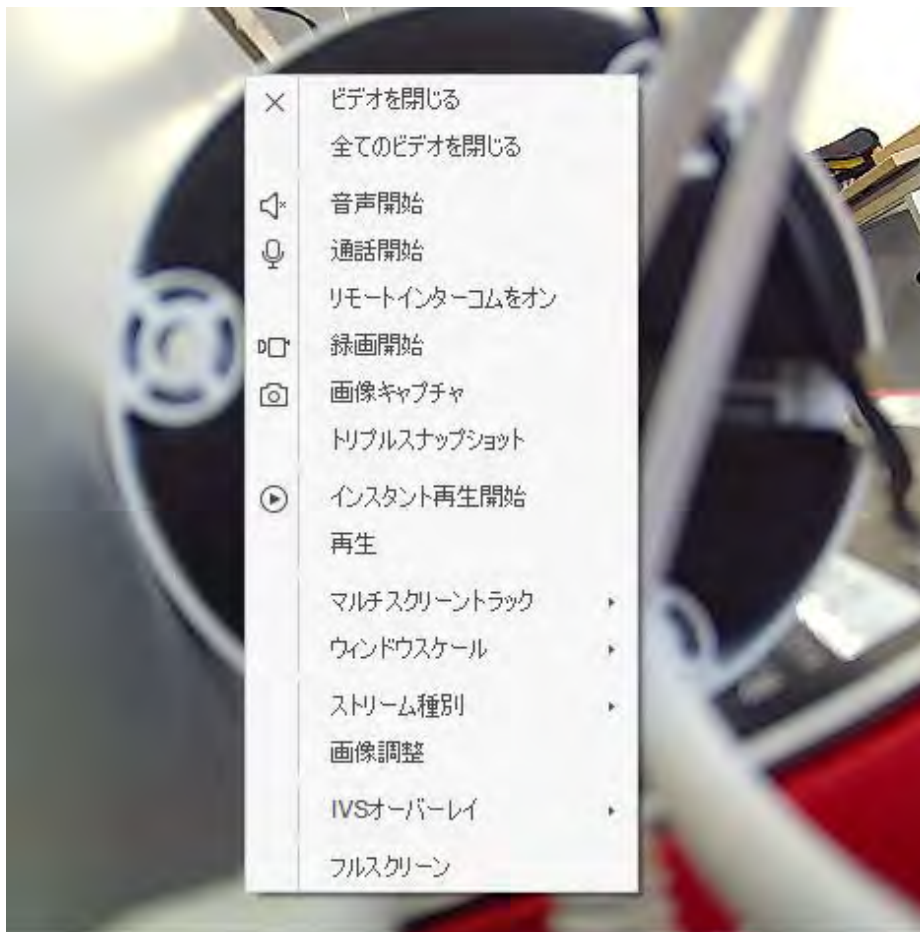
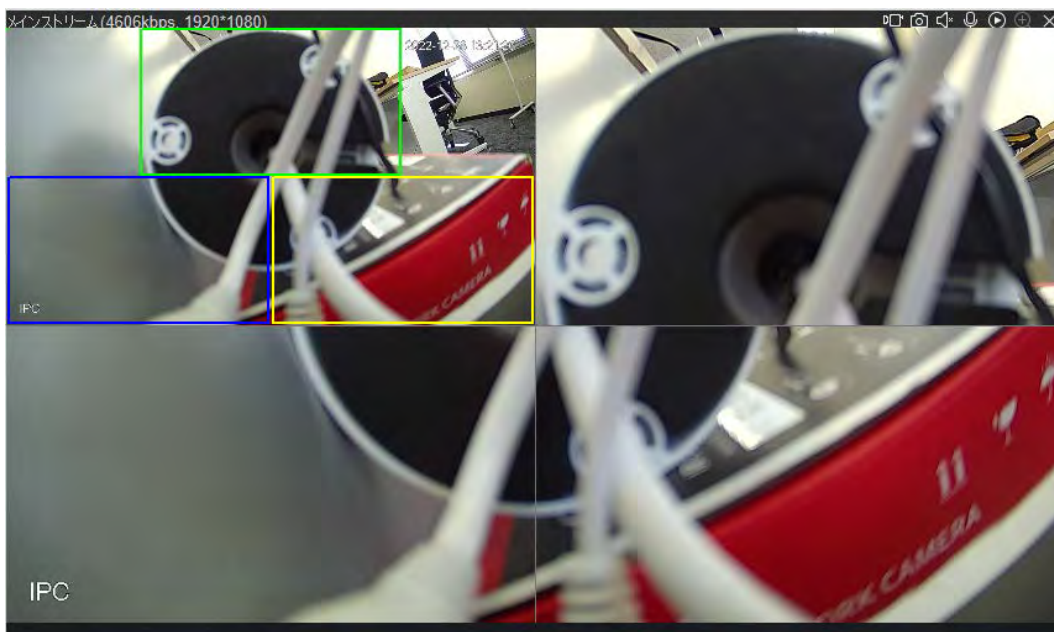


図2-6 1+3モード



マルチスクリーントラックを停止する必要がある場合は、ビデオウィンドウを右クリックして、**マルチスクリーントラック**を選択し、**ノーマルモード**を選択してください。

## 2.2.2 ツアープランによるライブビューイング

ツアープランを設定し、プランに沿ったモニタリング画面をライブビューすることが可能です。スケジュールツアーライブビューとマニュアルツアーライブビューに対応しています。

- スケジュールツアーライブビュー：タスクプランとツアー開始時刻を設定すると、設定された期間中にプラットフォームが自動的にスケジュールツアーを開始します。
- 手動でライブビューを巡回します。タスクプランを設定し、タスクに応じたツアーを手動で開始します。

**手順1** モニターソリューションページでライブビューを選択します。

**手順2** ツアープランを設定します。

- 1) 画面下部の👁️をクリックし、ポップアップで表示される **+追加** をクリックします。プランをダブルクリックして、タスク名を設定します。

図 2-7 ツアープランの追加(1)



図 2-8 ツアープランの追加(2)



- 2) ツアータスクを設定します。右の+をクリックし、ポップアップページでタスク名とタスク時間を設定します。組織ツリーのチャンネルを対応するウィンドウにドラッグし、**滞在時間**と**ストリーム種別**を設定し、**OK**をクリックします。+をクリックすると、他のツアータスクが追加されます。

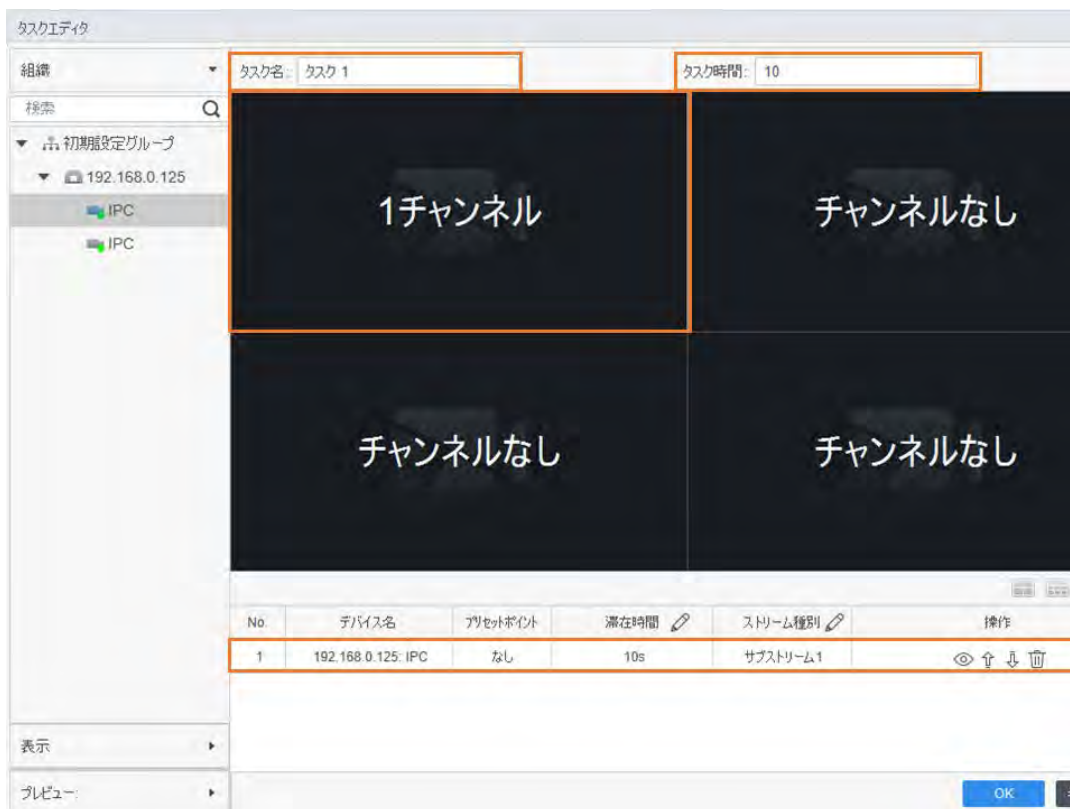


- 👁️ をクリックすると、ページの左側にチャンネルのプレビューが表示されます。
- ⬆️ をクリックすると、チャンネルが上に移動します。
- ⬆️ ボタンをクリックすると、チャンネルが下に移動します。
- 🗑️ をクリックすると、チャンネルが削除されます。

図 2-9 ツアープランの追加(3)



図 2-10 ツアープランの設定



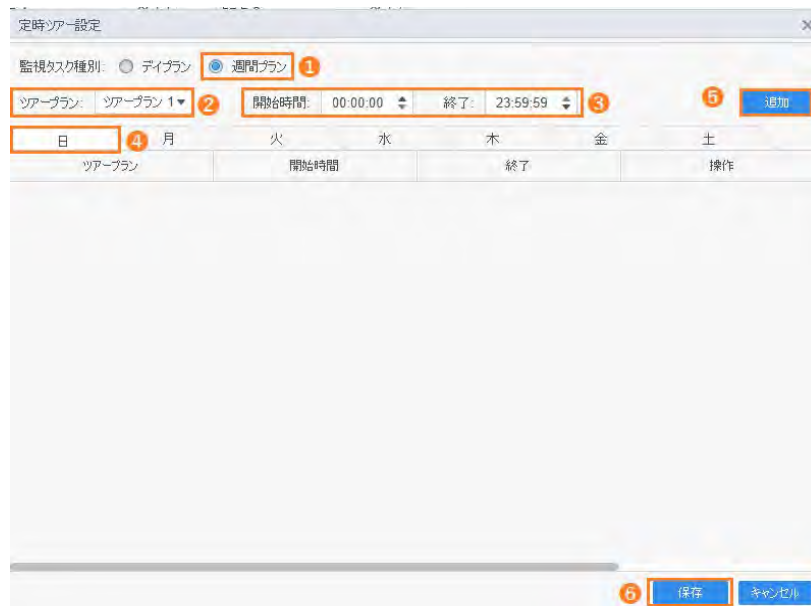
3) スケジュールツアーの設定を行います。🔄 をクリックし、表示されたポップアップページでスケジュールツアーの設定を行います。一日単位のツアーと一週間単位のツアーがあります。ここでは、**週間プラン**のスケジュールを例として説明します。週間プランを選択し、タスクプラン、開始時刻、終了時刻を選択し、**追加**をクリックし、**保存**をクリックします。



図 2-11 スケジュールツアーの設定(1)



図 2-12 スケジュールツアーの設定(2)




4) **戻る**をクリックすると、**ライブビュー**のページに移動します。

**手順 3** スケジュールツアーの右側にある  ボタンをクリックすると、スケジュールツアーのライブビューが有効になります。スケジュールツアーを有効にすると、設定された期間中にプラットフォームが自動的にスケジュールツアーを開始します。

図 2-13 スケジュール・ツアーの有効化



**手順 4** ツアープランを選択し、**Live View**ページの  をクリックすると、手動でツアーのライブビュー機能を有効にすることができます。



 ボタンをクリックすると、ツアーライブが停止します。

図 2-14 手動ツアーのライブビューを有効にします



## 2.2.3 ビューによるライブビューイング

リアルタイムで映像のウィンドウ分割や再生を記録するビューです。これらのパラメータは、ライブビュープランとして保存することができます。後でそれらのパラメータが必要になった場合、すぐに適用することができます。ビューが生成された後、そのビューを通してライブビューを行うことができます。

手順 1 モニターソリューションページでライブビューを選択します。

手順 2 新しいグループを作成します。

- 1) ビューをクリックします。
- 2) 新しいグループをクリックし、ポップアップダイアログボックスにグループ名を入力します。
- 3) 保存をクリックします。

図 2-15 グループの新規作成

手順 3 ビューを作成します。


- 1) 組織ツリーのビデオチャンネルをライブビューウィンドウにドラッグし、ビデオウィンドウの下部にある  をクリックします。
- 2) ポップアップダイアログボックスでビュー名とグループ名を設定し、モニタープランに保存するかどうかを選択します。
- 3) モニターグループに保存すると、そのビューに対応するビデオチャンネルが自動的にタスクプランに追加されます。
- 4) OKをクリックします。  
グループの下に新しいビューが生成されます。

図 2-16 ビューの作成

手順 4 ビュー一覧でビューをダブルクリックすると、プラットフォームがビューを通じて映像のライブビューを開始します。

## 2.3 PTZの設定

追加したカメラがPTZ機能を持つ場合、プラットフォームのPTZコントロールパネルからカメラを制御することができます。



## 2.3.1 プリセットポイントの設定

プリセットポイントとは、デバイスの現在の状況下で、PTZの水平角、傾斜角、レンズ焦点距離などのロケーションパラメータをカメラが保存できることを意味します。後でそれらのパラメータが必要になった場合、すぐにそれらを適用して、PTZとカメラをそれらの場所に調整することができます。

**手順 1** モニターソリューションページでライブビューを選択します。

**手順 2** PTZ機能付きデバイスをモニタリングウィンドウにドラッグします。

**手順 3** 組織ツリーでPTZタブをクリックし、カメラの対応する監視画面をクリックします。

PTZ コントロールパネルが起動します。

**手順 4** プリセットポイントを追加する。

1) PTZ コントロールパネルの**拡張**をクリックし、**プリセットポイント**を選択し、**⚙️**をクリックします。

図 2-17 プリセットポイントの追加



- 2) PTZ方向ボタンをクリックして、PTZを任意の位置に移動させることができます。
- 3) ドロップダウンリストからプリセットポイントを選択し、プリセットポイント名を設定し、**✓**をクリックします。

図 2-18 プリセットポイントの設定



手順 5 プリセットポイントを呼び出します。ドロップダウンリストからプリセットポイントを選択します。📍をクリックすると、カメラは設定された位置に素早く移動します。

図 2-19 プリセットポイントの呼び出し



## 2.3.2 ツアーの設定

ツアーとは、プリセットポイントをオートツアーグループに入れ、プリセットポイントに従ってカメラを素早く自動で前後に移動させることです。

### 前提条件

あらかじめプリセットポイントを2つ以上追加してください。詳しくは「2.3.1 プリセットポイントの設定」をご覧ください。

### 手順

- 手順 1 モニターソリューションページでライブビューを選択します。
- 手順 2 PTZ機能付きデバイスをモニタリングウィンドウにドラッグします。
- 手順 3 組織ツリーでPTZタブをクリックし、カメラの対応する監視画面をクリックします。  
PTZ コントロールパネルが起動します。
- 手順 4 ツアーを追加します。
  - 1) PTZ コントロールパネルの**拡張**をクリックし、**ツアー**を選択し、**⚙️**をクリックします。

図 2-20 ツアー機能の設定



- 2) **ツアーID**を選択し、**ツアー名**を入力します。
- 3) プリセットポイントの欄をダブルクリックしてプリセットポイントを設定し、**時間 (秒)**の欄をダブルクリックして滞在時間を設定します。
- 4) **+**をクリックすると、他のプリセットポイントを追加・設定することができます。
- 5) **OK**をクリックします。

図 2-21 ツアーの追加



手順 5 ツアーを開始します。PTZコントロールパネルで**ツアー**を選択し、有効にする必要があるツアー名を選択します。🔌をクリックすると、カメラは設定されたプリセットポイント間のツアーを開始します。

図 2-22 ツアーを開始する



### 2.3.3 パンの設定

パンとは、PTZ カメラを一定の速度で 360° 連続回転させることです。

手順 1 モニターソリューションページで**ライブビュー**を選択します。

手順 2 PTZ機能付きデバイスをモニタリングウィンドウにドラッグします。

手順 3 組織ツリーでPTZタブをクリックし、カメラの対応する監視画面をクリックします。

PTZ コントロールパネルが起動します。

手順 4 PTZ コントロールパネルの**拡張**をクリックし、**パン**を選択します。

手順 5 🔌をクリックすると、一定速度で360° 連続回転を開始します。



🔌をクリックすると、カメラの回転が停止します。

図 2-23 コンフィグパン





### 2.3.4 スキャンの設定


スキャンとは、水平方向の一定範囲内を、一定の速度で往復走査することです。

- 手順 1 モニターソリューションページでライブビューを選択します。
- 手順 2 PTZ機能付きデバイスをモニタリングウィンドウにドラッグします。
- 手順 3 組織ツリーでPTZタブをクリックし、カメラの対応する監視画面をクリックします。  
PTZ コントロールパネルが起動します。
- 手順 4 PTZ コントロールパネルの **拡張** をクリックし、**スキャン** を選択します。

図 2-24 スキャンの設定



手順 5 PTZ 方向ボタンをクリックして、PTZ を左方向に回転させ、 をクリックして左側の境界線を設定します。引き続き、PTZ を右方向に回転させて位置を決め、 をクリックして右側の境界線を設定します。

手順 6  をクリックしてスキャンを開始すると、PTZ は設定された 2 つの境界線の間で回転します。

## 2.3.5 パターンの設定

巡回パターンとは、ユーザーの PTZ への手動操作を連続的に記録し、カメラのレンズの移動パターンを記録することができます。カメラは録画を開始した場所を始点とし、あらかじめ設定された移動パターンに従って自動的に前後に移動します。




手順 1 モニターソリューションページでライブビューを選択します。

手順 2 PTZ 機能付きデバイスをモニタリングウィンドウにドラッグします。

手順 3 組織ツリーで PTZ タブをクリックし、カメラの対応する監視画面をクリックします。

PTZ コントロールパネルが起動します。

手順 4 パターンを追加します。

- 1) PTZ コントロールパネルの **拡張** をクリックし、**パターン** を選択します。パターンを設定する必要がある番号を選択し、 をクリックします。  
パターン機能を有効にすると、アイコン  が  に変わります。
- 2) PTZ 方向ボタン、ズームイン・ズームアウトボタンをクリックして、カメラの移動パターンを設定します。


3)  をクリックすると、パターン設定が完了します。

図 2-25 パターンの追加




手順 5 パターンを開始します。PTZ コントロールパネルで**パターン**を選択し、パターンを構成する必要がある番号を選択します。 をクリックすると、カメラは定義された移動パターンに従って自動的に移動します。



図 2-26 開始パターン



## 2.3.6 ワイパーの設定

ワイパー機能の有効/無効を設定できます。

**手順 1** モニターソリューションページでライブビューを選択します。

**手順 2** PTZ機能付きデバイスをモニタリングウィンドウにドラッグします。

**手順 3** 組織ツリーでPTZタブをクリックし、カメラの対応する監視画面をクリックします。

PTZ コントロールパネルが起動します。

**手順 4** PTZ コントロールパネルで **拡張** をクリックし、**ワイパー** を選択し

ます。🔌 をクリックするとワイパー機能が有効になり、🔌 をクリックするとワイパー機能が無効になります。

図 2-27 ワイパー機能



# 3 再生ページ

パソコンや端末に保存されている動画を検索して再生することができます。

## 3.1 基本的な操作方法

### 3.1.1 本機で動画を再生する場合

**手順 1** モニターソリューションページで、再生 > 機器 を選択します。




**手順 2** 機器またはビューの一覧から、再生したいデバイスまたはデバイスビューを選択します。ビデオのフィルタ条件を設定し、検索をクリックします。検索した映像が表示されたビデオウィンドウがで表示されます。

表3-1 ビデオフィルタの条件説明

パラメータ	詳細
録画種別	再生するビデオの種類を選択します。
ストリーム種別	機器によって、ストリームタイプの設定方法は異なります。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 記憶装置：実際のニーズに応じて設定します。プラットフォームは、設定されたストリームタイプに従ってビデオを検索します。</li><li>● IPC：任意のストリームタイプを選択することができます。IPC の場合、ストリームタイプの設定は反映されません。プラットフォームは、ストリームタイプの設定に関係なく、すべてのストリームタイプのビデオを検索します。</li><li>● PTZカメラ：PTZ カメラで使用されている現在のビデオ ストリーム タイプに従って、ストリーム タイプを設定します。プラットフォームは、PTZ カメラのすべてのストリーム タイプのビデオを検索します。 例えば、PTZカメラが現在のストリームとして<b>メインストリーム</b>を使用している場合、<b>ストリーム種別</b>を<b>メインストリーム</b>に設定します。プラットフォームは、PTZカメラのすべてのストリームタイプのビデオを検索します。メインストリームのビデオのみが存在する場合は、すべてのメインストリームのビデオが検索され、メインストリームのビデオとサブストリームのビデオが存在する場合は、すべてのメインストリームのビデオとサブストリームのビデオが検索されます。</li></ul>
時刻	再生する期間を設定します。ポイントがついているの日付は、その日付のレコードがあることを意味します。

**手順 3** 本機では、2つの方法で動画を再生することができます。

- 方法1：で表示されているウィンドウをクリックし、下部のをクリックすると動画が再生されます。
- 方法2：ビデオウィンドウの右側をクリックし、プラットフォームはデバイスチャンネルで検索されたすべてのビデオファイルを表示します。再生したいビデオファイルをダブルクリックすると、プラットフォームは自動的に対応するビデオを再生します。



**手順 4** ビデオをローカルにダウンロードします。ファイルリストでビデオを選択するか、をクリックしてすべてのビデオファイルを選択します。をクリックし、表示される指示に従ってビデオをローカルにダウンロードします。

図 3-1 再生画面

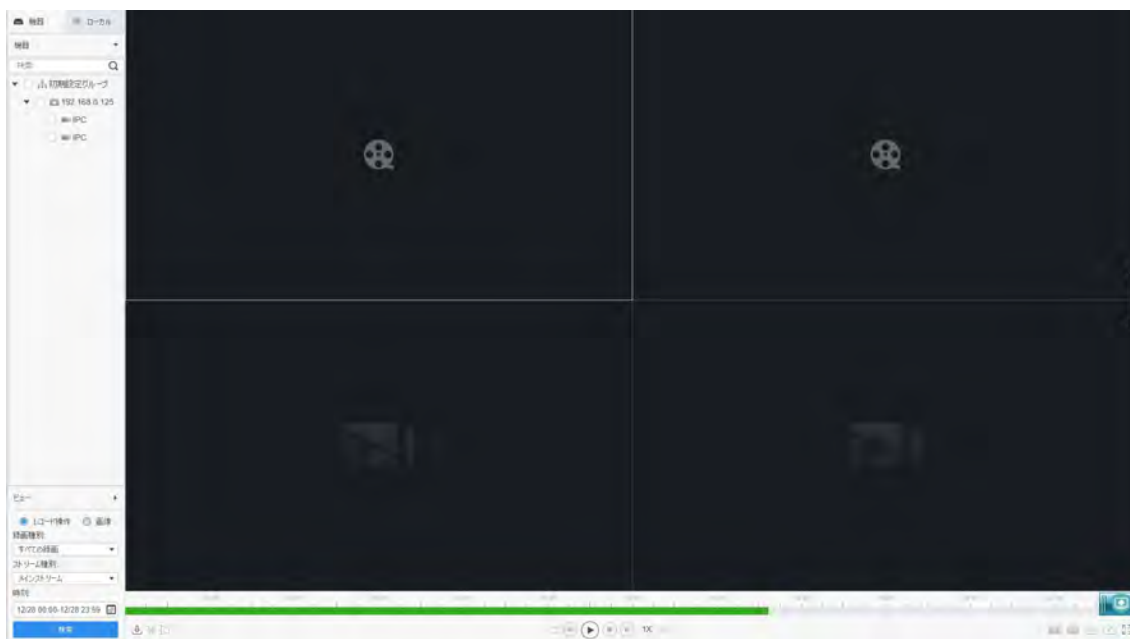
















表 3-2 再生画面のアイコンの説明

アイコン	パラメータ	詳細
	エクスポートの進捗状況	ビデオのエクスポートの進行状況を表示します。
	クリッピング	一定期間の動画を切り取ってダウンロードします。詳しくは、「3.2.2 動画のクリップとダウンロード」をご覧ください。
	スマート検索	モニター画面の特定領域を動的に検出解析します。検出領域内に動体画像がある動画のみ再生可能です。詳しくは「3.2.3 スマート検索」をご覧ください。
	同期	別のウィンドウでビデオ再生を同期させる。
	停止／一時停止	ビデオの停止／一時停止をする。
	再生	動画を再生します。
	ビデオフレームを再生	ビデオフレームを再生します。
	再生速度変更	動画の再生速度を加速/減速させます。
	タイムライン	ビデオの時間帯を表示します。ビデオ再生中にタイムラインをドラッグすると、対応する時間帯のビデオを再生することができます。
	4分割	4つのウィンドウに分割します。
	9分割	9つのウィンドウに分割します。
	16分割	16個のウィンドウに分割します。
	カスタム分割	カスタマイズされたウィンドウスプリットです。
	フルスクリーン	モニターウィンドウをフルスクリーンで表示します。

## 3.1.2 パソコンで動画を再生する場合

手順 1 モニターソリューションページで、再生 > ローカル > レコード操作を選択します。

手順 2 パソコンで動画を再生するには、2つの方法があります。

- 方法1：録画リストで再生したい動画をダブルクリックすると、右のウィンドウで動画が再生されます。
- 方法2：録画リストで再生したいビデオを選択し、右ウィンドウの下部にある▶をクリックします。

## 3.2 その他の操作

### 3.2.1 スナップショットの表示

デバイスとコンピュータのスナップショットを表示します。

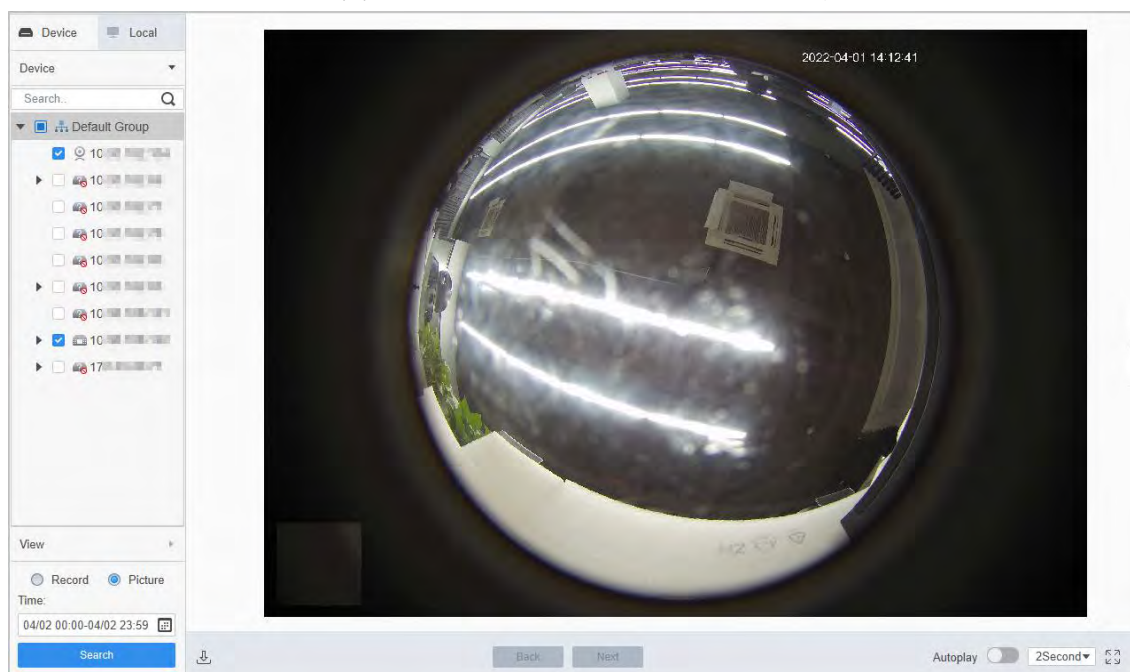
#### 3.2.1.1 デバイスでスナップショットを表示する

手順 1 モニターソリューションページで、再生 > 機器を選択します。

手順 2 組織ツリーで表示したいデバイスチャンネルを選択します。

手順 3 画像を選択し、期間を設定して、検索をクリックします。スナップショットは右のウィンドウに表示されます。

図 3-2 デバイスのスナップショットを表示



#### 3.2.1.2 コンピュータ上でスナップショットを見る

手順 1 モニターソリューションページで、再生 > ローカル > 画像を選択します。

手順 2 画像一覧でスナップショットを選択すると、右側にスナップショットの詳細が表示されます。



スナップショットが表示されない場合は、🔄 ボタンをクリックして画像一覧を更新してください。

図 3-3 コンピュータ上のスナップショットを表示する

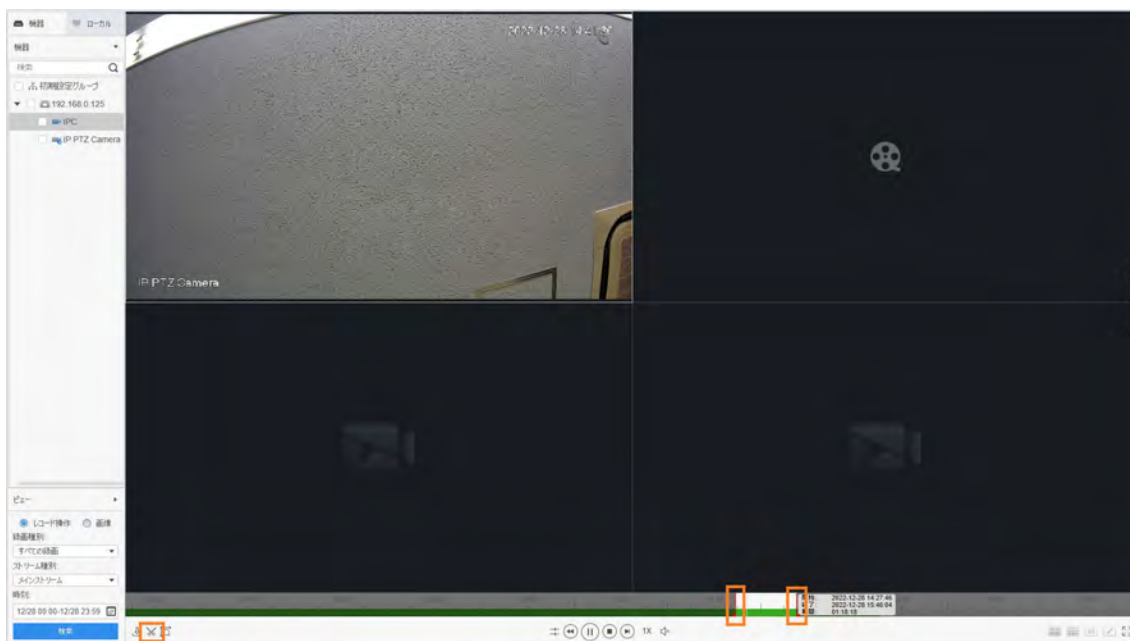



### 3.2.2 動画のクリッピングとダウンロード

#### 手順

- 手順 1 モニターソリューションページで、再生 > 機器を選択します。
- 手順 2 端末で動画を再生します。
- 手順 3 動画を切り取ってダウンロードするウィンドウをクリックし、ページ左下の✂️をクリックします。
- 手順 4 タイムライン上の左の赤い四角をクリック&ドラッグして開始時刻を設定し、右の赤い四角をクリック&ドラッグして終了時刻を設定します。

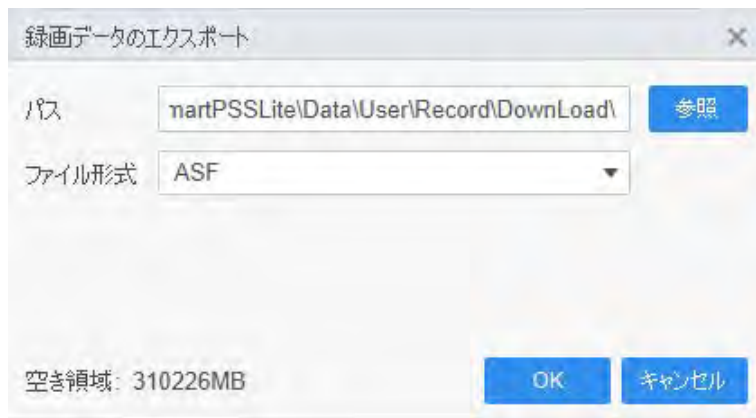
図3-4 クリップ動画




**手順 5** もう一度  をクリックし、ポップアップダイアログボックスで出力パスと出力フォーマットを設定します。

**手順 6** **OK** をクリックします。

図 3-5 出力パスと出力フォーマットの設定



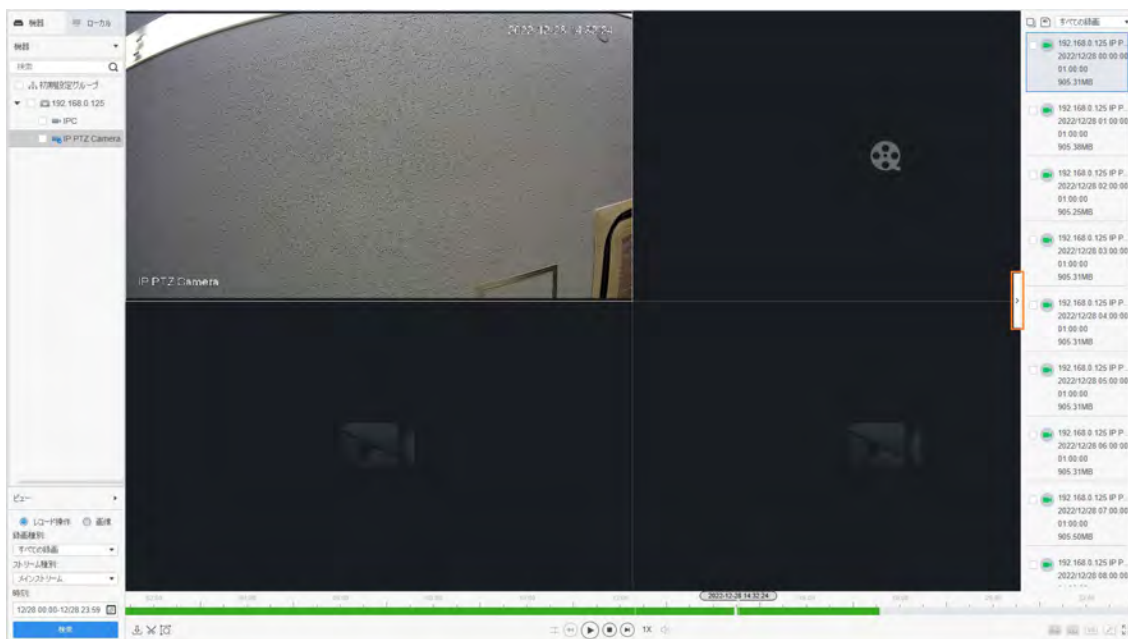
**手順 7**  をクリックすると、ファイルのダウンロードリストが表示されます。



- をクリックすると、すべてのファイルが選択されます。
- 選択したファイルをダウンロードするには、 ボタンをクリックします。



図3-6 動画のダウンロード



### 関連項目


エクスポートの進行状況は、ポップアップダイアログボックスで確認するか、ウィンドウの下部にあるをクリックします。

図 3-7 エクスポートの進行状況





### 3.2.3 スマート検索

スマート検索は、監視画面上の特定エリアを動的に検出解析するものです。検出エリア内の動体映像のみを再生することができます。あらかじめスマート検索機能に対応したデバイスを追加しておく必要があります。そうでない場合は、結果が空欄になります。

**手順 1** **モニターソリューション**ページで、**再生 > 機器**を選択します。

**手順 2** 本機のビデオを再生する。詳しくは、「3.1.1 本体の動画を再生する」をご覧ください。


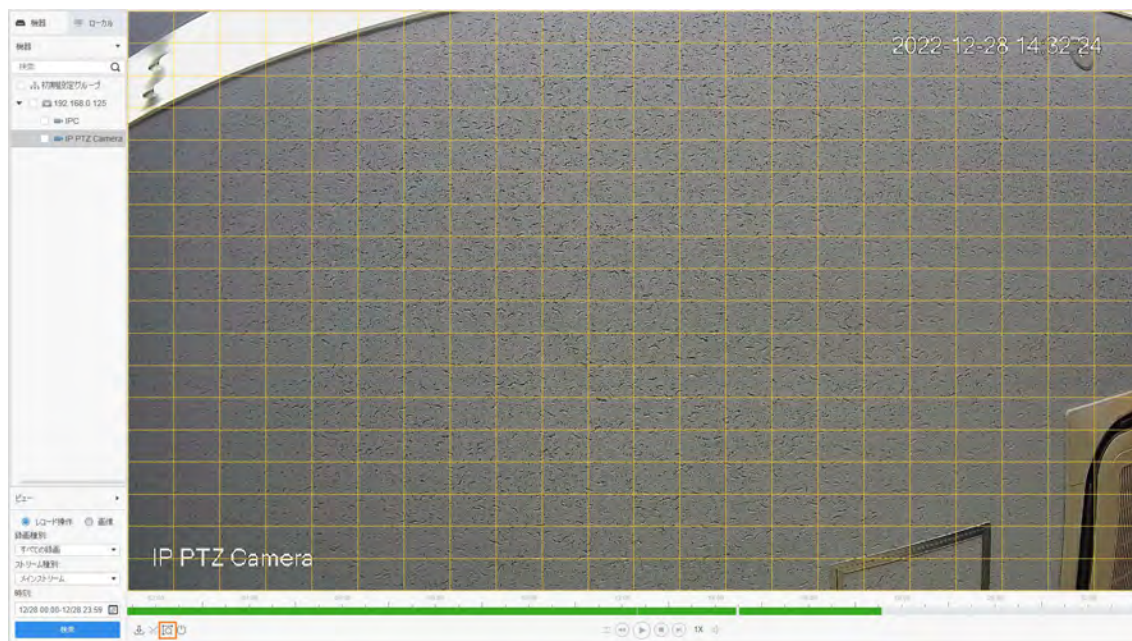
**手順 3**  をクリックします。


図 3-8 スマート検索




**手順 4** 小さな四角をクリックすると、検出範囲が選択されます。一度に複数の四角を選択することができます。また、画面上でマウスボタンをドラッグして、検出領域を描画することもできます。




もう一度四角をクリックすると、選択を取り消すことができます。

**手順 5** もう一度 をクリックすると、スマート検索の解析が始まります。

- 検索結果がある場合は、タイムライン上にダイナミックフレームが紫色で表示されます。
- 検索結果がない場合、または選択したエリアがスマート検索に対応していない場合、プラットフォームはスマート検索結果がないことを表示します。

**Step 6**  ボタンをクリックすると、ダイナミックフレームが再生されます。

**Step 7**  をクリックすると、スマート検索を終了します。

### 3.2.4 複数の動画を同期して再生する

複数の動画を同時に再生するように設定することができます。




#### 前提条件


同期再生の際には、各機器に映像があることをご確認ください。

## 手順

手順 1 **モニターソリューション** ページで、**再生 > 機器 > 機器** を選択します。動画

手順 2 を検索します。

- 1) デバイスリストで再生したい**機器**を選択し、**レコード操作**をクリックします。ビデオのフィルタ条件を設定し、**検索**をクリックします。検索された映像が表示されたビデオウィンドウが  で表示されます。
- 2)  で表示されているビデオウィンドウをクリックし、下部の  をクリックします。プラットフォームは、組織ツリーで選択されたデバイスチャンネルのビデオを再生し始めます。

手順 3  をクリックします。

同じ時間帯の他チャンネルの映像を自動的に再生します。